

『さくら、桜、サクラ』



名取春仙
「恵那八勝 傘岩春風」

多色刷り木版
昭和8年(1933)頃
当館蔵(田中コレクション)

もうすぐ待ちに待った春。3月の中山道広重美術館は、ひと足早い春の訪れを楽しんでいただきたく「さくら、桜、サクラ」展を開催します。

日本の国花、桜。日本の美術作品には、桜をモチーフにした作品が多くあります。江戸に住み、身近な行楽地に名所を見だし続けた歌川広重にとっても、桜は欠かすことのできない重要なテーマでした。江戸の花見名所であった上野、飛鳥山、御殿山、隅田堤、そして小金井。また悪所吉原の期間限定の桜は、江戸ならではの桜といえましょう。さらに京の桜の名所嵐山や、義経伝説を伝える石薬師の逆さ桜、三井寺の桜など、さまざまな桜が広重の筆によって描かれました。

旧暦3月は花見の季節。今年は広重描く桜に加え、ご当地恵那峡の桜や近代版画に描かれた桜なども加えていっそう華やかです。南は鹿児島からスタートし、桜前線とともに北上してご覧いただく趣向。今年もまた恵那で咲く最初の美しい桜の花を、展示室で、そしてラウンジで楽しんでいただきたいと思えます。

4月3日(日)まで開催中

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)休館

お花見茶会(「香風会」による呈茶会)

3月26日(土)正午～午後2時 無料

次号は3月15日号

発行日は3月15日(火)です

広報えな No.8

2005年(平成17年)3月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 秘書広報課
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

編集後記

2月は28日までと、ほかの月よりも短いのですが、この2、3日の違いが実に大きなこと。その分、締め切りが早くなってしまうのです。

特に今回は、2月15日号の配布作業を終えてから作り始めたため、まさに突貫工事。巻頭の大正村の特集は、3日で作ることもなつてしまいました。

実際に取材して分かったことですが、大正村の運営には実に多くの方々がかわっていられます。もっと時間をかけて多くの方とお会いし、いろいろとお話を聞けると良かったのですが、今回はできませんでした。よろしくお願ひします。